

平成24年度 新潟市新津鉄道資料館活性化検討委員会 会議録

■日 時：平成24年8月7日(火)

■会 場：秋葉区公民館301研修室

■参加者：新津鉄道資料館活性化検討委員会 金山委員，佐藤委員，里見委員，南雲委員  
新津鉄道資料館活性化検討委員会事務局 羽生秋葉区長，倉地歴史文化課課長  
拝野歴史文化課課長補佐，歴史文化課 水澤，文化政策課 狩谷（以上9名）

■傍聴人： 6人

■資料配布：新津鉄道資料館活性化基本計画/ミッション・運営方針・事業内容(案)  
別紙 新津鉄道資料館1階平面図並び2階平面図  
新津鉄道資料館活性化委員名簿

■意見聴取 1) 平成24年度新津鉄道資料館活性化基本計画について  
2) その他

(事務局から案件の概要を説明し，新津鉄道資料館現場確認の後で意見聴取をおこなった)

拝野補佐	新津鉄道資料館活性化検討委員会を開催いたします。本日の司会を務めさせていただきます，歴史文化課課長補佐拝野です。よろしくお願いたします。開会に先立ちまして北陸工業新聞社様，新潟日報社様より写真撮影の申し込みがございました。これを認め許可してよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
拝野補佐	それでは，撮影を認め許可いたします。よろしくお願いたします。それでは，開会にあたりまして歴史文化課課長倉地よりご挨拶を申し上げます。
倉地課長	皆さま，大変ご多用のなか，また，暑いなか検討委員会にご出席いただきましてありがとうございます。前回7月23日の検討委員会におきましては鉄道資料館のミッション，運営方針をご確認いただきました。また，実施する事業についてご意見をいただきました。今日は，事業内容の修正のご確認をお願いしたいと思っております。また，現地を確認した上で展示構成についてご意見を伺いたいと思っております。短い時間ではございますがよろしくお願いたします。
拝野補佐	本日の委員会の日程でございますが，次第にもとづき進めさせていただきます，午後3時終了とさせていただきますと存じます。よろしくお願いたします。それでは，協議に入ります，金山座長よろしくお願いたします。
金山座長	金山です。皆様，暑いなかお集まりいただきありがとうございます。今日は第3回目の活性化検討委員会になります。これまでに新津鉄道資料館を再生するにあたってのミッションや運営方針またその運営内容について審議をし，かなり具体的に内容を作成する事ができました。若干，基本計画について前回委員会で修正等がございましたので今日はまず，その基本計画の修正点に付きまして事務局から説明をよろしくお願いたします。
事務局：水澤	はい，私から説明させていただきます。今日皆様方からご意見をいただきたい点は2点

ございまして、1点目は、新津鉄道資料館事業内容について先回、ご指摘いただいた箇所の修正と事務局として追加の部分を提案させていただきたいと思っております。2点目につきましては、新津鉄道資料館活性化基本計画の展示構成・展示計画についてご意見をいただきたく思っております。ご意見を頂戴するにあたって今日は、委員の皆様と事務局全員で資料館の現場を同じ目線で見させていただき、その後に委員の皆さまからご意見をいただきたく思っております。よろしくお願いいたします。

では、1点目の鉄道資料館活性化基本計画の事業内容の変更と追加の提案を説明申し上げます。資料の別紙基本計画/ミッション・運営方針・事業内容(案)の説明をさせていただきます。資料の黄色で色を付けてある部分が先回から変更あるいは追加の箇所になります。1ページ目から説明させていただきます。

(1)の《交流人口の拡大と地域の活性化を図ります》の①快適に過ごせる施設作りを行うにあたっての事業内容の資料の劣化防止を行う、の説明欄を「温湿度管理」と訂正させていただきますと思います。先回の説明では、湿度管理のみでしたので「温」を入れさせていただきますました。追加で変更になります。

(1)の③、鉄道文化の情報発信をする、の事業内容、「鉄道雑誌掲載や市広報を活用し」という事で「活用」の文字を入れさせていただきました。また、「マスコミの協力を得る」という事で変更させていただきました。先回は「マスコミを活用する」という内容でしたが「協力を得る」と変更させていただきました。

同じく③の事業内容「新津駅前にサテライト施設を設置する」は、追加の提案となります。運営方針の内容に駅前にサテライトを設置しと記載しましたが、事業内容の中に具体的な実施項目が入っておりませんでしたし、説明も不十分という事で事務局の判断でこの部分は追加をお願いしたいと考えております。つきましては、ご意見をお願いいたします。サテライト施設を設置するにあたって説明の欄の記載も多少変更させていただきました。説明をさせていただきます。説明欄内「交通アクセスの紹介等を行う」を「交通アクセスの便を図る」に訂正し、提案させていただきます。

続いてこちらでも変更です。(2)の《鉄道文化の発信拠点にします》の①「鉄道の“記憶”をたどる」の事業内容、鉄道資料の収集に取り組む、の欄ですが、こちらは(3)「人づくりと地域の連携による事業を展開します」の欄からこちらの欄が好ましいだろうと先回の検討会でご意見をいただきましたので移動してございます。

続いて2ページ目の(2)の②「魅力的なコンテンツづくりと展示を行う」の事業内容の最終行の鉄道模型パノラマを見直すとしました。先回はジオラマとなっておりますがパノラマが好ましいという事でパノラマに全て変更いたしました。

(2)の④の鉄道文化に関心を持つ人を新たに獲得していくに変更してございます。先回は、新たな鉄道ファンを獲得していくとなっておりますが、この文字に変更したほうが好ましいというご意見でしたので変更してございます。

(2)の⑤「効率的なマネジメントを行う」の事業内容を「地域団体や鉄道関係団体の

	<p>協力を得て事業を行う」に変更してございます。</p> <p>つづいて、(3)《人づくりと地域の連携による事業を展開します》の③「鉄道文化と地域文化を担うひとづくりを行う」という事で変更してございますが、先回は「鉄道と地域文化の人づくりを行う」となっておりまして鉄道文化の「文化」という文字と「担う」の文字を追加してございます。さらに、事業内容も地域の鉄道関係者による「新津鉄道資料館サポーター（仮称）」となっておりますが先回は、「鉄道資料館友の会」になっておりましたが変更してございます。石油の世界館友の会と混同するのではないかという事で変更してございます。③の鉄道資料館サポーターの上部欄に地元市民による鉄道シティガイド（仮称）設置への支援と連携を行う、の説明欄になりますが「地域を魅力的に伝える人材育成に取り組み、活性化につなげていきます」という事で変更してございます。先回は、生かす取り組み等と記載してございましたが、言葉を整理してシンプルで分かりやすくのご指摘でしたので変更してございます。事業の内容の変更ならび追加の提案に付きましては以上でございます。</p>
金山座長	はい、ありがとうございます。いかがですか。今の事務局からの訂正と追加の点について、どなたかご意見ございますか。
委員一同	良いと思います。
金山座長	これでよろしいかと思っております。
事務局水澤	はい。
金山座長	以上、確認を終わります。つぎお願いいたします。
事務局水澤	<p>続いてですが、活性化基本計画の鉄道資料館の展示構成・展示計画について皆様にはお聞きしたいと思っておりますが、具体的な作業はこれからになります。今後の資料館の展示をどの様にしていくか。どの様な方向で考えて行くかの具体的な作業が必要になっていくかと思っております。つきましては委員の皆様方から同じ目線で鉄道資料館を本日ご覧いただき、ご覧いただいた後に今後の具体的な展示の構成、あるいは動線づくりやイメージづくりも含めてご指摘、ご意見をいただければと思っております。よろしくをお願いいたします。</p> <p>これから皆様には、鉄道資料館に移っていただき資料館をご覧いただきまして、こちらに戻っていただき皆様方からご意見をいただければと思っております。</p>
金山座長	事務局の説明があったようにミッション、運営方針・事業内容の案を踏まえて現地を見て展示リニューアルについて、ここに戻って意見を出していただければと思っております。委員会としては、初めて全員で現地を見るという事になります。よろしくをお願いいたします。各委員は、事前に1・2度あるいはもっと、私は、数回見ていますが南雲委員も見られますよね。
南雲委員	そうですね。
金山座長	時間を決めていかがでしょうか。
事務局水澤	30分でどうでしょうか。
金山座長	はい。分かりました

	<p>資料館を30分間、見て会議室に戻って意見を出していただく事にしたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>《鉄道資料館現地見学》</p>
金山座長	<p>皆様ありがとうございました。今ご見学いただいたわけですが展示リニューアルを考えるにあたって皆さんからご意見をいただきます。書類上でいうと展示リニューアルについては、一枚目の《鉄道文化の発信拠点にします》の説明の(2)の①から④に該当しています。現地を見ると色々な課題があるかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>佐藤委員お願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>門の看板を確認してきましたが(鉄道資料館の)看板がないですね。リニューアルの中身も必要ですが、外観のイメージチェンジも頭に入れておかれた方が良くと思います。いまの建物は、特に普通の建物ですけれども、実は内部だけでなく外観にも手を付ける事は必要かと思いました。</p> <p>改めて入館者の立場で館内に入って見て、さてどうしようかと。展示構成の流れの導入の部分が分かりにくいので、まず模型運転場が先に置いてあるのかと思います。本来はそこがメインのスタートだと思うんですけども、下手をするとそのまま真っ直ぐに行って展示室3に入って行ってしまう感じがしました。まず入館者をどのように導いていくか、人が流れて行くか。</p> <p>(2)の③の説明の部分に書かれている項目は新津地区でなくて市のほうで希望されている項目と理解して良いでしょうか。</p>
事務局水澤	<p>そうですね。具体的に目途の立っているものを資料館の新しいブースとして設置したらいかがかと思い記載してございます。</p>
佐藤委員	<p>目途の立っている入手可能なこれらに関連した資料は、どの様になっていますか。</p>
事務局水澤	<p>入手できる道はついているのですが、ストーリー性とかゾーニングとかの出し入れはまだ、十分可能だと思いますので、これはあくまでも我々がイメージをして資料収集の可能な範囲で設置可能な項目と思ってください。</p>
佐藤委員	<p>これからの作業というか見学してみていくつかあるんですが、物の活かし方ですね。資料ならこの資料が具体的にどのようにして使ったのか、誰がどの様にして使ったのか、どこで使ったのか、具体的な解説を加えないと物が生きてこない。展示品を活かした展示の方法が必要かと思います。ただストーリーとかは深く考えがつかないのです。思案中です。</p>
金山座長	<p>はい。佐藤委員の方からは、現状に対する認識。また、入り口のゲートの部分に資料館の看板が無いですね。だから施設が何であるか分からない。だからリニューアルをするにあたって鉄道資料館と看板の様な物を出してそれから外観ですね。資料館というイメージが湧くような外観の建物ではないので、その辺を工夫して新しくリニューアルしたとアピール出来るような新しい外観にする。中身についてはストーリー性の問題プラス導線につ</p>

<p>里見委員</p>	<p>いては話し合いたいと思います。これについては委員の方々のご意見はあったと思います。</p> <p>里見委員よろしくお願いたします。</p> <p>はい。展示の基本計画を作るにあたってのポイントを少し述べさせていただきます。いずれにいたしましても、今回のリニューアルが新しいモデルケースとして評価される展示を目指してもらいたいと思います。これから展示の構成案を複数案考えた上で委員会において絞り込んでいく考え方をしたいと思います。具体的には展示のテーマを考えて各展示テーマごとの展示の狙いを明記していただいて、その狙いを表現する為には展示する資料およびその二次資料である写真や映像や模型をどのように組み合わせるかのリストを作成していく。それらをどの様な展示の方法・テクニックで表現するか設計に繋げるために文章化をしていく。つまり展示シナリオを書いていくという事ですね。これが大変重要です。展示には様々な計画があります。その諸計画を明らかにしていくことです。例えば、解説計画であれば解説の仕組みをどうするのか、こども用と大人用とかあるいはマニア向け等々ですね。そういう事をどの様に整理していくか。博物館学者の新井重三先生は、ダブルアレンジメント展示を提唱していましたが、幾通りかの解説を付ける。最近では豊橋自然史博物館が2段展示という方法を採用しましてこども用解説と大人用解説というように分けて解説をしています。また、東京の国立科学博物館ではこども用のアウレットパネル、アウレットというのは仔フクロウで可愛い仔フクロウというような事でパネルを作って子供がそれを見て分かりやすいという様な物もあります。解説の仕組みをどの様にするかを検討しなければならないと思います。目玉の展示、特別な展示に付いてはセルフガイドを用意して展示の見方を誘導するワークシートと申しますが、そういった物も作成していくと大変分かり易くなっていくだろうと思っております。それから解説計画にはサインとかロゴマークとかあるいは解説パネルだけでなくパンフレットも含めたトータルな解説システムを考えて行く事が大切だと思います。あるいは造形計画、模型だとかパノラマだとかジオラマだとかあるいは人形を使ったりする場合の表現の考え方もですね。いわゆる演出面におけるソフトというものを充実させる事が大事だと思います。ただ単に模型ジオラマを作るのではなくて時間・空間が変化するストーリーを感じさせる要素を織り込む造形にしなければならないかと思っております。そして、照明の計画については基本的にLED照明が中心になると申しますが、特に照明演出計画について重視していただきたいと思っております。たとえば照明には色温度があり、赤っぽい光、青っぽい光を上手く使い分ける照明計画を立てていくとガラッとイメージが変わりますね。今の照明はぜんぜん駄目ですね。そういう事も重要です。それから、映像・音響計画をよく考えていただきたい。特に鉄道特有の音が有りますよね。それを効果的に使うということも考えていただくと良いかと思っております。まとめますと一つ目は、展示室は展示演出に力を入れて欲しい。二つ目は、共感・感動する展示にしてほしい。三つ目は、展示のストーリー性を十分考えていただきたい。四つ目が展示のアート性に特に注意を払った空間を作り、美的な空間を考えていただきたいと思っております。</p>
-------------	---

金山座長	<p>展示の専門的でテクニカルなご指摘をいただきました。ありがとうございます。それでは、南雲委員いかがでしょうか。</p>
南雲委員	<p>他の委員の人と同じ意見で外観からのワクワク感が無いのでワクワク感が欲しいですね。昔の新津の駅を再現して鉄道資料館という文字をしっかりと入れると観光のお客様が必ず文字の前で記念撮影をしますから文字をしっかりと入れてここへ行ってきました、という思い出に印象に残るようなワクワクするような外観がひとつ欲しいですね。廊下が狭い。廊下が狭いとちょっと圧迫感があるな、というイメージがあるのですが、例えば天井を抜いちゃって吹き抜けなんかにして細い廊下を進むとパーンと何か大きな物が現れるとか、何かドキドキ、ワクワクしての一番の見せたい物にたどり着く演出はストーリー性ですね。ストーリー性が欲しいです。私は、自分がガイドをする時にどういう風にガイドをしようかなと思ったときに戸惑う展示内容、ストーリー性が無いのでそこをどういう風にガイドして良いか分からない感じの状態なのでストーリー性が欲しいですね。今の段階だと一番見せたい物が何なのか分からない。それから、基本計画のところで「西の米原、東の新津とうたわれたほどの」とあるんですけど「鉄道の町新津」というものが感じられる様なストーリー性、新津じゃなくもっと新潟市、新潟県と大きくしても良いんですけどここは鉄道の町なんだ、という風に感じられる様な展示が欲しいですね。さっき資料館を見たときに五歳くらいの男の子がいたんですけど、やっぱり動く物がすごく好きなんですね。五感を刺激する様な触れる物、それから里見委員がおっしゃられた様に音。SLが通った時のSL特有の香りとかですね。五感を刺激するような展示の演出が出来れば良いなと思います。持っている物を全部見せても良いのかなとそこはちょっと疑問に思いました。バックヤードをしっかりと設けて見せる物は見せる、見せない物は見せない、きっちり分けて季節的に変えるとか、とにかくごちゃごちゃしているのでバックヤードをしっかりと設けて見せる物と見せない物をはっきり区別して季節などによって区別してというのも良いかなと思いました。</p>
金山座長	<p>はい、ありがとうございます。最初の部分の南雲委員がおっしゃった新津の駅のホームを再現したら良いんじゃないかは先回佐藤委員から展示室内で再現も可能ではないかとのご意見がありましたが、南雲委員は屋外で再現したら面白いんじゃないかというご意見ですか。</p>
南雲委員	<p>そうです。</p>
金山座長	<p>面白いですね。屋外だったらどの辺りが面白く効果的ですか。</p>
南雲委員	<p>やっぱり、写真を撮りたいと思うので。記念写真用に外観部分、玄関正面だけでも良いので全部覆い隠す。出来れば一番良いでしょうが、玄関の一部でも良いでしょうね。</p>
金山座長	<p>玄関の入口に立って建物の入り口の所ということ。</p>
南雲委員	<p>そうです。</p>
金山座長	<p>面白いかもしれないね。そういうアイデアは、新津の駅の入り口みたいにホームから入って、博物館に入って新津の鉄道の文化や歴史の導入展示みたいな駅舎、駅的位置づけとい</p>

事務局水澤 金山座長	<p>う事でしょうね。各委員から意見を出して頂きましたけどそれをちょっとまとめると、ストーリー性が今の展示にはないので新しいリニューアルの展示にどうストーリー性を持たせるか。あとは、音だとか照明などの演出についてですね。現状は、導線がないですね。お客さんが順々に見て行くルートがないのでそれを示して、ストーリーを持たせていく内容が分かり易い展示になると思います。で、マニアの方は、特定の物を見るから今いったストーリー性を持たせる展示は、一般の人が見て分かり易い展示という事ですね。</p> <p>ストーリー的な展示を考えた時に佐藤委員の発言された同様にそれぞれにテーマ性を設定して行くかという事ですね。導入部の問題もからんできます。</p> <p>事務局としてそこまで考えずにきました。</p> <p>それはそれでいいです。その前のところで色々詳しい事は記憶をたどるも含まれますが、やはりストーリー性のテーマを出したほうがいいですね。これを知っているのは地元の方達が一番分かります。外の我々が今の展示を見てストーリーを考えろといったってなかなかぴたりくるものがないと思います。むしろ、現場の方と市役所関係の方のほうでストーリー性でなく項目をどんどん出していただく。</p>
佐藤委員	<p>いま現在展示されている項目も必要なものは出していただいてストーリーを何通りか考えていただいて。項目を最初に出してそしてその項目を組み合わせでストーリーを考えてください。というのが現実的ではないかと思います。わたしの提案になってしまいました。各委員の方のご意見はいかがですか。佐藤委員いかがでしょうか。</p> <p>まず、この館でやる展示となると(2)の①ですね。新津・新潟の鉄道にまつわる歴史やその時代を展示していこう。それに付随して別に③の鉄道技術の紹介を行う。我々は、地域性について分からない訳ですから新津地区・新潟市がこういうものを展示したいと明記してもらおうとありがたいです。前回は申し上げましたけれども新潟といったら冬、それはすぐに結びつきますが、それ以外の新潟の鉄道というものが掴みづらいですね。見方、考え方がまとまらないですね。前回の時、南雲委員が四季のことを挙げられましたが新潟の鉄道の四季は何かと考えたんですけれども、冬はすぐに出たんですけれど春・夏・秋がどうも上手くいかないんです。民話に「四季の間」というのがありますね、ある部屋に入ると四方が襖の部屋になっていて、正面を開けると春になって、隣を開けると夏になる。そういうようなことを展示室の中や館の中でやれると良いかなと思ったんですけど。いまの段階では単なる雑談でしかないんで申し訳ないです。</p>
金山座長 里見委員	<p>新潟・新津の、まず今は地元の人にだと思うのですが、外部の人が来て「東の新津」を納得させる物が必要だと思います。いまは、残念ながら館に入っても言葉としては書いてあると思うんですけどちょっと分からない。これだけ新津の駅ないし鉄道の町が変質してきている時ですので明確に伝えるメッセージ的なものが欲しいかなと思いました。</p> <p>はい。里見委員はいかがですか。</p> <p>こちらに今展示されている17項目のテーマは専門的で横のつながりがなくぶつぶつと切れているんですね。それをどういう風にストーリー展開をしていくかですね。一つは、時</p>

	<p>間軸での流れを追って行ってそしてそれを使って上手におさまってくれるかどうかという事。</p>
<p>金山座長 南雲委員</p>	<p>あるいは、鉄道と生活文化という切り口だとすればどういう物が考えられるだろうかとか。こちらに展示されているものであれば専門家の様々なコーナーがあり保線コーナーがありあるいは連結器とか鉄道にまつわる専門的なコーナーがります。整理してストーリー立てして数話作ってみてそれを検討していくという形にしていっての方が良いと思います。</p> <p>はい。南雲委員いかがでしょうか。</p> <p>佐藤委員がおっしゃった様に見せないというのも一つかもしれません。良く県内の博物館・資料館とかに行くと穴が開いていて目で見てくださいと穴が開いていて、そこからこう覗くとあまりたいした物でなく写真であったりするんですけど、みんな覗くんですよ。襖が閉まっていたりしたらつい開けたくなるし見せないというのも良いのかなと思います。カフェ、休憩スペース、これひとつ提案なんですけど今、東区プラザのレストランとかがそうだったりマクドナルドもそうなんですけど、親がコーヒーを飲みながら子供が見えるところで安全に遊べるという部屋があったり、ジャングルジムがあったりして大人がコーヒーが飲んで子供が安全に遊べる、そういう演出があったり、さっきガラスのケースの中をぐるぐる回る電車を回していたんですね。安全で自由に子供が触れたり、遊べるスペースが欲しいです。</p>
<p>金山座長</p>	<p>色々ご意見を出していただきありがとうございます。ストーリー展示については、私の意見としては新津の鉄道というものが最初にくると思いますね。で、その次に新潟の鉄道になるんじゃないかなと。ひとつの地域の区別というものをしておかれるのは必要かと思います。ストーリーから外れるものはいろいろ出てくるだろうと思います。じつは、それはマニアの方にとって魅力的な物であったり必要な物もあつたりするのでこれは結構あつたりするんで、今展示されている物のなかでそれはストーリーに添わないからそれを片付けない。</p> <p>大宮の鉄道博物館でも行われている収蔵展示という形態を使って、別の部屋にまとめてやるという方法があると思います。ストーリー展示は1階のフロアをあてて、2階のフロアを収蔵展示として住み分けをするという事であれば来館者、利用者にとってはメリハリのついた展示になると思う。それから、南雲委員がおっしゃったお母さんが子供を遊ばせる場所も必要じゃないかという意見は、1回目の委員会でプラレールというようなことも良いじゃないでしょうか。京都の梅小路ではそういうものがありますよね。これは、展示室の中でというよりは、むしろ2階の多目的ホール、あれだけのスペースがありますのでそちらを活用するというのも考えられるでしょう。</p> <p>それから多目的ホールは、広いですので博物館であれば特別展や企画展を持ってきて、その場所をあてていくということも出来るでしょう。そのスペースを全体でイベントをやるのに広すぎますので、パーティションで仕切りをして半分を展示、展覧会をする、半分はお母さん方が来て子供を遊ばせるスペースを作るというようなことも出来ますね。事務局で展示ストーリーを持たせるという事で項目、テーマですね。テーマを考えていただけますか。</p>
<p>事務局水澤</p>	<p>はい。事務局だけで絞っていくということは難しいですね。</p>



金山座長	もちろん。協力者を得てください。
事務局水澤	地元の方や市の職員に呼びかけて意見のある方から広く意見を頂戴したいと思います。
金山座長	やり方はいろいろあるのでこまかい事はどうしろといいませんからやっていただきたいという事です。展示品についてはここまでという事でよろしいでしょうか。あとその他という事でいいでしょうか。特に事務局で用意したものはないですか。
事務局水澤	はい、今回その他については事務局はございません。
金山座長	私の方からその他という事で質問したいのは、資料館のPR活動というのは市だけで出来るものでないし市民の協力が必要で、地元企業の特にJR関係が不可欠である訳ですね。
事務局水澤	はい。
金山座長	これを、具体化していくなかでJRに対して市として協力要請をしていくかと思えます。そうなった時に具体的にどの部分でJRに協力をお願いしたいかということ委員会の中かで今日全て出せとは言いませんが考えておくのも必要ではないでしょうか。で、この辺については市とJRの関係もあるでしょうし、佐藤委員は、これについては事情をご存知だろうと思えますから何か佐藤委員の方からアドバイスはありますか。
佐藤委員	昔の国鉄とは違ってきております。事業形態や進め方が違ってきています。技術的なものもかなり変わってきておりますし、取りあえずどの様な協力をして欲しいか。たとえばこういう品が欲しいとか車両なりが欲しいとか、その辺をまとめた上で進めたほうがいいのかと思います。漠然と協力して欲しいといっても難しいですね。ただ、今言えるのは昔と違ってあまり余裕という物が少ない状況になってきています。こちらが希望した品があると思っても無い事があります。その辺を注意した方が良いでしょう。
金山座長	その辺は事務局のほうでJRと交渉してないんでしょうか。
事務局水澤	4月以降JRの新潟支社の窓口に対しては3回交渉に行っております。
金山座長	行っているんですね。
事務局水澤	先月に課長と私と一緒に交渉にいきまして、佐藤委員がおっしゃられた様にこちらの希望をきちんと出して欲しいと言われております。そのなかでJRとして対応できる物、残念ながらできない物、どの部署に行けば対応できるかJRの方で判断するので、計画を作ったら要望をきちんと出して欲しいと言われてきました。ですから、基本計画や具体的な展示計画が固まってくれば現在ある資料・収蔵している資料と照らし合わせて必要な品をJRさんと交渉という形をお願いに上がるという流れではおります。あと、JR貨物についても支店長の交代はありましたが、前支店長からの引継ぎを受けて、新しい支店長へも協力要請をしたところ、窓口を開いて情報交換をしましょうと了解していただきました。資料の要望も市側の希望があれば言って下さいと前向きなお話を頂戴しております。
金山座長	JRとは緊密に情報交換をしながら協力要請をしていくということでもよろしくお願いたします。このプロジェクトの成否はJRに掛っているのではないかなと思っています。他にご意見はございますか。はい、佐藤委員。
佐藤委員	2階の図書資料をどの様に考えていらっしゃるでしょうか。

事務局水澤	今、収蔵している図書資料でしょうか。
佐藤委員	その資料です。あの扱いですね。
事務局水澤	正直、リニューアルのなかでも外に出すにはちょっと材質が紙だけに難しかろうと思っております。他の鉄道博物館に行くとガラスケースの中に入れて温湿度管理をして展示をしているところもありますが、その様な所を見ると専門家の意見を聞いてみないと分かりませんが、出して大丈夫な品物か、移動しても大丈夫な品物か見極めながら展示できれば良いでしょうが基本的に外に出すのは厳しいかと思えます。
金山座長	図書室など限定して公開する方向性なのか当面は現状維持ですか。
事務局水澤	現状維持です。不特定数多数が閲覧といえども部屋に入ることによって資料の傷みや劣化が起りやすくなるため今の段階では閲覧でも公開は厳しいと思っております。
金山座長	それにしても閲覧をすることは可能だと思います。今回のリニューアルについては展示方針ですので、それはまた検討課題ということで。特に今、その様な要望があるということはありませんか。
事務局水澤	あまりありません。
金山座長	ほとんどない。
事務局水澤	あるのは新聞でしょうか。新潟の運輸区時代の瓦版の様な広報紙を発刊してしまして、その広報誌が多くストックしてあります。それをコピーさせてほしいという要望はあります。お一人だけですけれども。50年以上前の紙ですのでお断りしております。
金山座長	それは、後で考えましょう。他によろしいでしょうか。最後に一言ずついかかでしょう。佐藤委員いかがですか。
佐藤委員	動線はつくれない、つくり難いのは承知しています。ただ見学者の心理としては、どうしても全部見たいという心理が働きます。なんらかの形で動線は設定しておいた方が良いのではないかと思います。動線から外れて見学しても別にかまわないと思います。逆にいうとこの施設は動線は取れますね。動線が取れない所もありますけれども動線があればいいですが動線を作らないという逆のパターンでもやり易いと思います。入り口に看板が欲しいと発言しました。それと共に例えば駐車場から床面に線路を描いてそれをたどって行けば資料館に着く方法もありかなと思いました。その線をたどると一番見せたい場所に行ける。細かいようですが人を誘導する事を考えています。
金山座長	里見委員いかがでしょうか。
里見委員	入り口を入った所にドーンと建物の大きな壁面が見えます。あの壁を上手く使えないかと思っているんですけど、検討していただければと思います。 展示が面白くない。なぜ展示が面白くないかをお話しいたしますが、私の考え方ですけれども一般的な展示で注意しなければならないのは物理的な要因、生理的な要因、心理的な要因をクリアすること大事です。具体的に申し上げますと展示内容が難解で専門すぎるとかですね。情報量が多すぎる、解説文が長すぎる、情報が煩雑、これも問題です。それから展示が単調でリズムがない。抑揚がなく平板そういう所も面白くない所なんですよ。

<p>金山座長 南雲委員</p>	<p>教えるという姿勢で語りかける物語性に欠けるという事もつまらない。そういうところも大事です。先程から何度も出ていますが動線が不明確で順路が不明瞭，見づらい，複雑，狭い，そういう所が心理的に良くない。それから見づらい，読みづらい，メッセージ性にかける。不自然な姿勢で見なければならぬ。その様ないろんな問題がこの館には沢山ありますが，そういう所をクリアしていく計画を作らなければならぬかなと思っております。</p>
	<p>はい，ありがとうございます。最後に南雲委員。 今，線路を書くという提案があったんですけど，私も同じ意見で駅からすごく遠いというアクセスも何とか良いように持っていけないか。駅から線路を描いても良いんですけど駅から遠いので駅から歩いてきた方に，これから資料館に行くという案でディズニーランドにあるんですが，足跡をつけてここがビューポイント，ここから写真を撮った方が良いとか遊びの要素。教えるのではなくて魅力的に伝える遊びの要素が欲しいと思いました。</p>
	<p>外の所に昔の駅を駅前に看板がある駐車場をわざわざ離して，そこからミニ蒸気機関車を走らせて遠い所に駐車した人は機関車に乗れるのだとかすると駅の看板のところに着くとか。マニア向けの展示にしても一般の人はどのあたりがどう素晴らしいか分からないので，AKBみたいに総選挙を開いてマニアの方から投票していただいて，どの品がどの位素晴らしいのかどの位人気があるのか，一般の人にもわかりやすく良いのか分からないですが，自分でミニ機関車を持っている人，プラモデルを持っている人とかが活躍できる場所の提供もしても良いですし，総選挙みたいに投票しても良いですし。先程のお客様は，「自動券売機が懐かしいね」とおっしゃったのでそういうのもレプリカでも良いので作ったりして入場券を買う券売機を昔の感じにしておく管理さんが昔の様に鉄を入れてくれるとか教えてくれるのではなく魅力的に伝えてくれる遊びの要素をもっと入れて一般の人にも分かりやすく資料館になって欲しいと思います。</p>
<p>金山座長 佐藤委員</p>	<p>はい，ありがとうございます。まだございますか。佐藤委員。 今の展示は，専門的な様な感じですけど，分野別になっていて，私というか我々から見ると分かり易い部分もあります。このテーマについてはここに行けば良いと。私は，この館の展示で役立った事がありましてね。一番奥の部屋にバールの大きなものが何本か展示してございますが，あの件について外部から質問を受けたんですけど，太い棒を人が担いでいる絵があるが，それがなんだか分からない。多分こうだろうと見当はつけたんですが，ここに来て実物を見て間違いないと分りました。いまの様な展示の仕方をしてあると，そういう役立ち方もあります。一般の人に難しいかもしれませんが，調べる時に同じ用途のものが並んでいるので，比較してこれだと確認できる利点はあります。個人的におもしろかったのは灰皿の展示でした。そういう見方もあるという事をお伝えします。</p>
<p>金山座長</p>	<p>はい，ありがとうございます。今日は色々具体的に展示リニューアルについて皆様から意見を出していただきました。以上のことを参考にして，具体的に計画していく。今後すすめていきたいと思っております。今日は，ありがとうございます。</p>

事務局水澤	<p>次回の日程を確認させていただきます。9月の11日の火曜日です。会場は、同じくこちらで午後1時から3時迄になります。よろしくお願いいたします。</p>
金山座長	<p>今回は展示の構成案が出てくる訳ですね。</p>
事務局水澤	<p>皆さまから様々なご意見をいただきましたのを参考にいたしまして具体的なプランを提案させていただきたいと思っております。</p>
金山座長	<p>はい、ありがとうございました。司会を事務局に移します。</p>
拝野補佐	<p>それでは最後に倉地課長より閉会の挨拶を申し上げます。</p>
倉地課長	<p>本日は、現地の見学の上に、新たな面から様々なご意見とご指摘をいただきました。事務局の方でも展示構成プランを作成し、皆さんにご提示できるよう9月迄に準備をととのえたいと思っております。本日は、誠にありがとうございました。</p>